

21.11.13 中学校の不登校生保護者会に参加して(報告)

ぼちぼちの会会長 木村素也

令和3年11月13日(土)10時から12時まで中学校の不登校生の保護者会に参加してきました。担当の先生、他校の中学校の保護者の会の上野さん、通信制高校のクラーク国際高校の齋藤先生、つくば開成高校の松永先生、スクールカウンセラーの先生、保護者14名の参加でした。

- 配布物の確認 11月学校行事 各種たより(学校・PTA・SC・その他)
- 通信制高校学校説明(クラーク国際高校、つくば開成高校)
- 上野さんからの自分の体験(子どもの様子や当時を振り返って)

- 各保護者から経緯や現状報告(今回は時間の関係で3年の保護者から)

- 最後に私、木村からお話をさせていただきました。

・まずは大人が落ち着かないとダメ。ただでさえ不安な子どもの不安を煽ることになる。そのためにも見通しを持っていないといけない。正しい情報をじっくり把握することが大切。

・まじめな子どもほど全てを完璧にやらないと納得できない。

・できないことに目を向けてしまうと不安のほうが強くなる。

・子どもの人生を親が背負ってしまう。親は親の人生を、子どもの人生は子どもが決める。親は子どもの生き方を支援する立場であって、ルールを引くのではない。子どもが親の考え方を変える。

・ほとんどの子どもは学校に行きたいがなぜだかいけなくなる。いくら正論を聞いても、わかっているのにできないことを言われると逃げ出したくなる。

終了後個別の保護者と話をして13時30頃退校させていただきました。